

夕刊 読賣新聞 新刊 【朝夕刊月きめ定価3925円(本体価格3738円+消費税187円)】1部売り朝刊130円・夕刊50円 (第3種郵便物認可)

# 腹筋1回寄付1円

メタボ改善や米国横断の挑戦で寄付が集まる？ 財布のひもが固くなりながら「時世だが、個人から薄く広く寄付を募る新しい取り組みが広がっている。従来の募金とは趣が違い、「挑戦」と「楽しみながら」がカギらしい。(時田一彦)



「ハッ」「ヤー」。東京都大田区のスポーツジムで5月3日、会員の男女13人が音楽に合わせてこぶしを突き上げたり、足をけり上げたりと、格闘技の動きを交えたエクササイズ(体操)に取り組んでいた。

「ストレス解消なのに人助けにもなる。普段より気持ちいい」。会社員菊池香さん(39)は笑顔で汗をぬぐった。

会員がこの日払ったレッスン料200円は、NPO法人「メタボランティア」(東京)を通じて、途上国の貧しい子供たちの学校給食の支援に充てられる。

昨年5月に設立された同法人は、メタボリックシンドローム解消と社会貢献活動の「一石二鳥」に取り組む。現在、ジムを運営する「東急スポーツオアシス」

とタイアップし、全国のジムで寄付活動を展開中だ。大阪府大阪狭山市の系列店でも、男女が真っ赤な顔で腹筋を繰り返していた。腹筋1回につき1円を寄付するイベント。40代の女性

も15分で200回の目標を達成した。スタッフの今村文耶さん(22)は「こういう企画なら、寄付しようと思う人は多いんだと驚いた。」

「社会貢献したい気持ちがあっても、どこに寄付したらいいかわからない」という人にきっかけを与えてくれそうなのが、寄付仲介サイト「ジャスト・ギビング・ジャパン」だ。英国で成功を取った寄付

仲介サイトの日本版。日本に個人寄付文化を根付かせようと、3月に開設された。

寄付活動に協力したい人は、サイトに登録された、実績のあるNPO(非営利組織)から「支援先」を選び、自分で決めた課題にチャレンジする。その模様はサイトで公開され、共感した人が、ネットを通じて寄付をする。集まったお金は挑戦者には入らず、支援先

に支払われる仕組みだ。その一人、調理師の山下憲一さん(62)は、アフガニスタンを支援する日本のNPOのために、インラインスケートで米大陸横断に挑戦中だ。4月9日にロサンゼルスを出発、5か月かけて6000マイル先のポストンを目指す。「途中でスケートが壊れ、歩きました」。

日々の様子を携帯電話でツイッター(簡易投稿サイト)に書き込んでいる。

山下さん自身も、NPOのことをこのサイトで知った。「テロを根絶するためには、貧困をなくすことが必要。還暦を過ぎたオヤジのバカな挑戦だけど、少しでも世のためになれば」。

山下さんの挑戦には、既に約2万円が集まった。同サイトには、元プロ野球選手の古田敦也さんら著名人も登録している。「禁煙」「スケート1回転ジャンプ」といった課題を掲げる人もいる。

## 米横断・メタボ解消…「楽しむ」募金



あなたの頑張りが社会貢献に繋がります。(目安:1円) それぞれのイベントに応じた計算方法にて金額を割り出しています。おで行うチャリティイベントについては、スタジオ入室の際に募金を頂いた募金は100%寄付いたします。

によると、名目GDP(国内総生産)に占める寄付総額の割合は、日本は0.12%で、米国の1.87%とは大きな差がある。個人寄付の割合も2割弱で、9割超の米英とは、寄付文化が異なる。

山内教授は、「寄付する側も楽しみや満足感を得られる仕組みが、今までNPO活動に縁のなかった人を巻き込んでおり、寄付の底辺を広げる可能性がある」とみる。

さあ、あなたも楽しく社会貢献に挑戦してみよう。